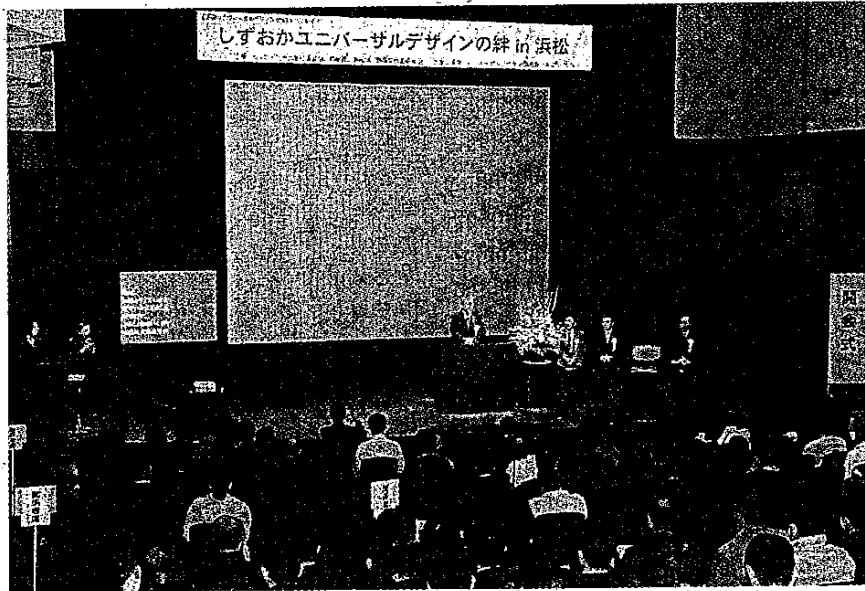


平成21年12月4日(金)
静岡新聞(夕刊)



ユニバーサルデザインの推進を呼び掛けた開会式—浜松市中区の静岡文化芸術大

UD 新たな可能性発信

浜松で啓発イベント

ユニバーサルデザイン(UD)のさらなる可能性を探り、県内外に発信する啓発イベント「しずおかユニバーサルデザインの絆(きずな)in浜松」(同実行委員会、浜松市など主催、静岡新聞社・静岡放送後援)が4日午前、浜松市中区の静岡文化芸術大で開幕した。同市で来年秋に開かれる世界最大のUD会議「第3回国際UD会議2010」のプレイベント。5日までの2日間、シンポジウムや最新のUD技術の紹介、UDコンテストなどを繰り広げる。

鈴木康友市長らが出席して開会式が行われ、杉浦政紀実行委員長(同市中区)が「UDとはすべての人を使い、考え、行動すること。一人一人がUDの素晴らしさに気づき、ものいひやまがうくりに取り組んでほしい」と呼び掛けた。続いて、評論家の樋口恵子さんが「誰もが喜ぶしやすい高齢社会への提言」と題して記念講演した。

午後からは「次の世代に今できること」をテーマにしたシンポジウムを行うほか、米国のUD研究者が日米のUDの進展について発表する。